



## 奥村 智洋さん

『シンドラーのリスト』でソロを弾いていただき、奥村さんの御紹介です。

1969年東京生まれ。4歳からヴァイオリンを始め、15歳で第53回日本音楽コンクールで第一位・増沢賞を受賞。高校卒業後、奨学生としてジュリアード音楽院に留学。1990年ワルド・マヨール・ヴァイオリン・コンクール並びにアスペン・コンチェルト・コンクールに優勝。同年カーネギーホールでニューヨーク・コンサート・オーケストラとラロのスペイン交響曲を弾いてニューヨークデビューを果たす。1992年カール・フレッシュ国際ヴァイオリン・コンクールに入賞、同時にパガニーニの演奏に対して特別賞を受ける。

1993年ナウムバーグ国際ヴァイオリン・コンクールに優勝し、一躍アメリカ楽壇に認められ、全米各地のオーケストラ(ダラス、ミルウォーキー、ユタ、シラキュース、ニュージャージー、ルイジアナ、スポケーン、スプリングフィールド、ホノルル、ナッシュビル、ロングビーチ、コロラド、ヴァージニアほか多数)と共演、ワシントン・ポスト、ロスアンゼルス・タイムズ、フィラデルフィア・インクワイアラーなどの有力紙に絶賛される。1994年2月リンカーンセンターのアリス・タリー・ホールで行われたニューヨーク・デビュー・リサイタルは、特にバルトークの演奏についてニューヨーク・タイムズ紙から最高級の賛辞を得る。またケネディセンター、フリックミュージアム(ピッツバーグ)、ガードナーミュージアム、クラナートセンター等でリサイタルを行い、好評を得る。

その間日本では、NHK交響楽団、新日本フィルハーモニーと共演したほか、浜離宮朝日ホール、東京オペラシティリサイタルホール、宝塚バガホールなどでリサイタルを行う。1995年、ジュリアード音楽院室内管弦楽団と共にソリストと

して来日、神戸、姫路、大阪で演奏し、好評を博す(大阪いずみホールにて金山隆夫氏と共演)。

1998年日本テレビ「深夜の音楽会」に出演し、読売日本交響楽団と共演。1999年夏、NHK交響楽団と5回にわたり共演。現在、キンポー・イシイ=エトウ氏指揮、スロヴァキア・フィルハーモニー管弦楽団とのデビューCD(ラロ:スペイン交響曲/グラズノフ:ヴァイオリン協奏曲)が発売中である。

これまでに鷺見三郎、堀正文、江藤俊哉、ドロシー・ディレイ、川崎雅夫、フェリックス・ガリミア各氏に師事。ニューヨーク在住。

奥村さんの練習参加は、19・20日です。楽しみです！

## 第13回演奏会の選曲

### 9:8/5時点での候補

7/23の選曲会議後に残っているのは、以下の曲目です。本日(8/6)の選曲会議でさらに検討が加えられましたので、練習時になんらかの経過報告はできると思われます。

### 第13回候補曲一覧(7/25現在)

1. イベール: 寄港地 (20分)  
ラヴェル: ラ・ヴァルス (13分)  
サンサーンス: Sym 3 オルガン付 (35分)
2. チャイコフスキー: ロメジュリ (20分)  
白鳥の湖抜粋  
Sym 6 悲愴 (45分)
3. グリーグ: ベール・ギェントから抜粋 (20分)  
ニールセン: Sym 3 (32分)  
シベリウス: Sym 2 (45分)
4. エルガー: 威風堂々第1番 (5分)  
ブリテン: 青少年のための管弦楽入門 (20分弱)  
ヴォーン=ウィリアムス: Sym 5 (42分)

5. ブリテン: 青少年のための管弦楽入門 (20分弱)  
ホルスト: 組曲「惑星」(50分)  
エルガー: 威風堂々の1番以外のどれか(アンコール)
6. アルベニス(アルボス編): イベリア組曲(25分程度)  
ファリャ: 三角帽子全曲(40分程度)  
ビゼー: カルメンから1 or 2曲程度(アンコール)
7. ブラームス: Sym 3 (40分)  
ラヴェル: 古風なメヌエット(10分弱)  
亡きバヴァ(これはなくてもいいかも?)  
ラ・ヴァルス(13分)
8. ブラームス: Sym 3 (40分)  
ハチャトゥリアン: スバルタクスより抜粋(30~40分)
9. ハチャトゥリアン: ヴァレンシアの寡婦  
ポロデン: Sym 2 (27分)
10. ブリテン: 青少年のための管弦楽入門(20分弱)  
シベリウス: Sym 5 (32分)  
エルガー: エニグマ変奏曲(30分強)
11. ニールセン or シベリウスのSym (30分強)  
ヤナーチェク: シンフォニエッタ(25分)

### 9:7/23選曲会議報告

参加者(敬称略): 内山、篠崎、金井、増尾、井藤、坂本、窪田、進行=藤原

11個のプログラム案(前段参照)の曲についての「コメント」

1. 寄港地・ラヴァルス・オルガン付  
・オルガン付 やりたい人は結構いる。木管はシベア。複数回のセクション練習必要。  
・ラヴァルス 弦: 技術的に危険、雰囲気を出すのが困難  
・Obは3曲とも3管となる。現状人数では無理なのでトラの手配等必要。

